答え 10月26日 今日は何の日クイズ



赤い字が答えです

柿の日にちなんで「柿クイズ」

【第1問】「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」。この俳句をよんだのはだれ？

① 正岡子規　② 石川啄木　③ 与謝野晶子

正岡子規が、奈良を旅したときによんだ句です。子規は大の柿好きだったと伝えられています。10月26日の柿の日は、この句がよまれた日にちなんでいます。

【第2問】甘柿の品種にある名前はどれでしょう？

① 次郎　② 三郎　③ 五郎

「次郎柿」は、静岡県の松本治郎吉（じろきち）という人が育てたことから、この名が付いたといわれます。四角くて平たい形が特ちょうです。

【第3問】「柿が赤くなれば〇〇が青くなる」。〇〇に入るのは？

① 親　② 医者　③ お月さま

柿が実るころは気候がよく、病気になる人が少なくなって医者がひまになる、という意味です。柿は昔から体によい果物とされてきました。

【第4問】干し柿の表面につく、白い粉の正体は何でしょう？

① カビ　② 柿の糖分　③ 塩

白い粉は、柿の中の糖分が表面に出てきて固まったものです。カビではないので、安心して食べられます。この粉がふいた干し柿は、甘みがぎゅっとつまっています。

【第5問】柿をいちばん多く作っている都道府県はどこでしょう？

① 奈良県　② 福岡県　③ 和歌山県

和歌山県が日本一で、とくに渋柿の「たねなし柿」がたくさん作られています。2位は奈良県で、柿の葉で包んだ「柿の葉ずし」も名物です。

【第6問】柿の品種で多いのは、甘柿と渋柿のどちらといわれるでしょう？

① 甘柿　② 同じくらい　③ 渋柿

品種の数では渋柿のほうがずっと多いといわれます。渋柿は干したり、お酒で渋をぬいたりして食べます。そのまま食べられる甘柿は、じつは少数派なのです。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます